



高木美保 「タレント」

土地の知恵を 活かすことが大切

一九九八年に自然のある環境を求めて、栃木県的那須高原に引越しました。それ以来、生活のベースは那須ですね。東京で仕事をして、那須に帰る、そういう生活をしています。

私にとって、自然は気づきを与えてくれる存在です。都会の生活では、状況的にも時間的にも自分自身と向き合うことができづらい環境でした。しかし、自然の中に身を置いてみると、自身と楽に向き合えるようになり、発想が自由になれたのです。人間以外の対象、木々や植物、動物、昆虫などに触れることで感覚がナチュラルになる感じがします。その環境を楽しむようになって、怒るときは怒るし、言うべきことは言うようになって、私自身も自然体でいられるようになりました。自分の感情や意見を抑えることが多い人間関係において、その部分を開放するそれは、とてもナチュラルなことだと思います。

ら。安易に森林に入るのは危険です。山のことを知っておくことが大切でしょう。

最近、荒れている山が多いように見えます。こういった山を整備するためには、まずその山の“人生”を知ることが重要だと思います。山には、地域性はもちろんです。これまでその山がどう生きてきたのか、人が山にどう関わってきたのかという歴史があります。そういった情報は、山を整備する上で必要不可欠なはず。地域性や歴史を知らずに、全国均一的な整備案を当てはめるのではなく、その土地に住むお年寄りや^{まよび}仙人、マタギと呼ばれる山と共に生きている方々の知恵を集め、それをもちに整備を行っていくことが最良なのではないでしょうか。

プロフィール
高木 美保(たかぎ みほ)
1984年、映画『Wの悲劇』でデビュー後、ドラマ『華の嵐』の主演をはじめ、NHK大河ドラマなど数々のドラマに出演。現在は、朝の情報番組『とくダネ!』(フジテレビ系)の、水曜日のレギュラーコメンテーターとして出演するなど、講演や執筆業なども積極的に活動している。

Miho Takagi